

安全データシート

FR-102WE

作成 : 2017/4/11
改訂 : 2022/8/17● 項目1 化学品及び会社情報
化学品の名称FR-102WE、DBDPE(DECABROMODIPHENYL ETHANE)
1,1'-(Ethane-1,2-diyl)bis[2,3,4,5,6-pentabromobenzene]
1, 1'-(エタン-1, 2-ジイル)ビス[2, 3, 4, 5, 6-ペンタブロモベンゼン]会社名
住所SHAN DONG HAI WANG CHEMICAL INDUSTRIAL CO.,LTD
Yangzi Street, Coastal Economic Development Zone, Weifang City,
Shandong Province 261108担当部署
担当者(作成者)
電話番号
FAX番号
メールアドレス
緊急連絡先番号+86-13583603592
+86-536-7578888
sdhwjzx@163.com
+86-1358603592販売代理店
住所:
電話番号
FAX
メールアドレス
HPサンケミカル株式会社
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
03-3661-6681
03-3661-7055
yano@sun-chemical.co.jp
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意

★ 項目2 危険有害性の要約
GHSの分類物理化学的危険性: 分類できない
健康に対する有害性: 分類できない
環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

- GHSのラベル要素
- 絵表示又はシンボル 無し
- 注意喚起語 無し
- 危険有害性情報 無し
- 注意書き

【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P304+P340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用
P338	して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P501	条令、法令、国際規制に従い、内容物と容器を破棄すること

【応急措置】

眼に入った場合	コンタクトレンズを外すこと。すぐに十分な水で15分間は、眼を洗うこと。 眼の洗浄中は、時々、瞼を上と下に広げること。 刺激が起きる場合、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	直ぐに十分な水と多量の水で、皮膚を洗う。 皮膚を洗いながら汚染された服と靴を洗う。 特に皮膚の間接部分に本製品が残らないように気を付けること。 皮膚の軟化剤で、皮膚の刺激を抑えること。 刺激が増したり、続く場合、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐き出さないようにすること。意識不明の患者の口に何も与えないこと。 水で口をゆすぐこと。 身体を締めつける服を緩めること。 (襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド) 徴候が出てきたら医師の診断を受けること。
吸引した場合	直ぐに患者を安全な場所に避難させること。 身体を締めつける服を緩めること。 (襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド) 呼吸をしていない場合、人工呼吸を施すこと。 呼吸困難時は酸素呼吸機器で酸素をあたえること。 刺激が強まったり、長引く場合、医師の診断を受けること。 警告: 物質が有毒性(有毒,伝染,腐食性等)の場合、人工呼吸蘇生は危険です。

【保管】

熱や火には近づけないこと。
涼しく、乾燥した、換気の良い場所に保管し、
影響を与える物質から遠ざけること。
密閉した容器に保管すること。
湿気や水から遠ざけること。
子供が近づかないようにすること。

【廃棄】

残余廃棄物
廃棄物を出す場合、必ず、有害性の確認をすること。
処理については、危険性の分類を産業廃棄物業者に相談をすること。
(例えば、他の物質と混ぜて、廃棄する際は、産業廃棄物業者と相談すること)

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名

単一化学品
1,1'-(Ethane-1,2-diyl)bis[2,3,4,5,6-pentabromobenzene]
1, 1'-(エタン-1, 2-ジイル)ビス[2, 3, 4, 5, 6-ペン
タブロモベンゼン]

化学特性

CAS番号

84852-53-9

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

95%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化審法: 4-1735

安衛法: 7-(4)-841

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物無し

EC番号

284-366-9

組成

C14H4Br10

分類

X,R37

▲ 項目4 応急処置

眼に入った場合	コンタクトレンズを外すこと。すぐに十分な水で15分間は、眼を洗うこと。 眼の洗浄中は、時々、瞼を上と下に広げること。 刺激が起きる場合、医師の診断を受けること。
---------	--

皮膚に付着した場合	直ぐに十分な水と多量の水で、皮膚を洗う。 皮膚を洗いながら汚染された服と靴を洗う。 特に皮膚の間接部分に本製品が残らないように気を付けること。 皮膚の軟化剤で、皮膚の刺激を抑えること。 刺激が増したり、続く場合、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐き出さないようにすること。意識不明の患者の口に何も与えないこと。 水で口をゆすぐこと。 身体を締める服を緩めること。 (襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド) 徴候が出てきたら医師の診断を受けること。
吸引した場合	直ぐに患者を安全な場所に避難させること。 身体を締める服を緩めること。 (襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド) 呼吸をしていない場合、人工呼吸を施すこと。 呼吸困難時は酸素呼吸機器で酸素をあたえること。 刺激が強まったり、長引く場合、医師の診断を受けること。
	警告:物質が有毒性(有毒、伝染、腐食性等)の場合、人工呼吸蘇生は危険です。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	データ無し 症状に応じて処置をすること。
------------------------------	-------------------------

項目5 火災時の措置
消火剤

周囲の状況に適した物を使用すること。
水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

火災時の措置に関する
特有の危険有害性

熱分解で刺激性のガスと蒸気が発生します。
粉塵が空気に触れて爆発性の混合物を生成する恐れがある。
炎や火花で点火、爆発のおそれがある。
密室や換気のない場所で、粉塵の発生を防ぐこと。

固形の微粉砕で発生する粉じん雲は特に危険です。
本製品と本製品の空の容器を熱源に近づけないこと。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

火の中に入る場合、MSHA/NIOSH承認の
自動呼吸機器と全身の防火服を着用して下さい。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

包装が破れた場合、十分な換気を行うこと。
個人用の保護具を着用して下さい。
漏れ/流出物に近づかないようにすること。
漏れ/流出物を風上に置かないようにすること。

漏出物/流出物に熱と火を近づけない。
粉塵の生成を避ける。
粉塵の吸引をさけること。
流出源を止める事が容易な場合は、止めること。

容器の中に水をいれないこと。

環境に対する注意事項

漏出物を、下水道、溝、水に近づけないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機械

法令、条令に従い、適切な容器に移し、処理又はリサイクルをすること。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 (局所排気、全体換気)	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
	安全取扱注意事項	本製品の取扱中に出てきた粉塵は、空気中で、充分混ざると、爆発性になります。 産業衛生に従い、取扱いには十分な注意と、不必要に皮膚に触れないようにして下さい。 取扱後は充分に手を洗うこと。充分な換気をして取扱うこと。 粉塵の発生と蓄積を最小限に抑えること。 眼、皮膚、服への接触を避けること。 粉塵の吸引を避けること。 容器に損傷を加えないように配慮すること。 空の容器は製品の残留物が(粉塵、又は固形)あり、危険です。 容器は運ぶ際、製品がこぼれないように気をつけること。 静電気の発生を予防すること。 取扱中は飲食と喫煙を避けること。 容器の中に水が入らないようにすること。
	接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
	衛生対策	
保管	安全な保管条件	熱や火には近づけないこと。 涼しく、乾燥した、換気の良い場所に保管し、影響を与える物質から遠ざけること。 密閉した容器に保管すること。 湿気や水から遠ざけること。 子供が近づかないようにすること。

安全な保管保管包装材料

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

設備対策	保管場所と取扱い場所では、眼の洗浄場所と安全シャワー設備を備えつけること。空中での粉塵濃度が高くならないように換気をする。
管理濃度	
許容濃度	日本産業衛生学会(2005年版) ACGIH(2005年)
保護具	眼の保護具 眼を覆うゴーグル型の保護具、もしくは顔全体を覆う保護具。 皮膚及び身体の保護具 適切な手の保護具 手の保護具 職場の危険物質の濃度に合わせた保護具を着用して下さい。 呼吸用保護具 29CFR 1910.134 のOSHA呼吸器規制、もしくはヨーロッパ規制EN149に従うこと。 曝露限界濃度が超えた場合、または刺激や、他の症状が出てる場合、NIOSH/MSHAもしくは、ヨーロッパ基準EN149認証の呼吸機器を着用して下さい。
特別な注意事項	取扱中、加工中、保管中は、飲食喫煙をしないこと。 食前と、喫煙前は手を十分に洗うこと。 良い健康習慣を継続すること。

項目9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)	白色 粉末
臭い	無し
臭いのしきい値	データ無し
pH	データ無し
融点・凝固点	350°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	
引火点	データ無し
蒸発速度	データ無し
燃焼性(固体、気体)	データ無し
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重(相対密度)	2.67g/cm3
溶解度	非混和性
n-オクタノール/水分配係数	データ無し
自然発火温度	データ無し
粘度(粘性率)	データ無し
その他データ	

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	データ無し
化学的安定性	通常の使用では安定
危険有害反応可能性	危険重合は起きない
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	過度な熱。粉塵の発生。湿気。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	刺激、毒性の煙とガスが発生するおそれ。 一酸化炭素、二酸化炭素、臭化水素。
その他	

★ 項目11 有害情報

急性毒性	
ラット/経口/LD50	> 5,000mg/kg
ラビット/けい皮/LD50	> 2,000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ無し
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異性	データ無し
発がん性	IARCの人に発がんのおそれのある化学物質は0.1%以上含有していない。
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性、単回曝露	データ無し
特定標的臓器毒性、反復曝露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	データ無し
その他の身体の悪影響	
眼	粉塵は眼に刺激を与える恐れがある。徴候としては、赤目、腫れ、痛み、涙。かゆみが出る場合もある。
皮膚	皮膚について吸収されると有害のおそれ。皮膚に刺激を与えるおそれ。
摂取、飲み込む	飲み込むと有害のおそれ。口と喉の粘膜に刺激を与える。吐き気、嘔吐、下痢と、胃に刺激を与えるおそれ。
吸引	空気中の粉塵を吸い込むと、粘膜と上気道に刺激を与えるおそれがある。 曝露による症状は咳、くしゃみ、呼吸困難がある。 本製品は人により、呼吸器に刺激をあたえるおそれがある。 この刺激反応は肺に損傷を与えるおそれがある。
呼吸器に、肺気腫や、慢性気管支炎といった障害や病気がある場合、粒子を吸引し続けると症状が悪化するおそれがある。	
曝露徴候と症状	人体に本物質が長期間かけて蓄積すると、人体に問題が起こるおそれがある。 動物実験では曝露により、胎児に毒性があった。長期間の曝露や、高濃度の曝露はじん肺症状といった肺の病気になる。 製造メーカーが知る限り、化学、物理化学、毒性は完全な調査が済んでいない。
追加情報	
RTECS#: CAS# 84852-53-9: DA358200	

項目12 環境毒性情報

生態毒性
データ無し

残留性・分解性
データ無し

生体蓄積性
データ無し

土壤中の移動性
データ無し

オゾン層への有害性
データ無し

他の有害影響
下水道に流さないこと。

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物
廃棄物を出す場合、必ず、有害性の確認をすること。
処理については、危険性の分類を産業廃棄物業者に相談をすること。
(例えば、他の物質と混ぜて、廃棄する際は、産業廃棄物業者と相談すること)

汚染容器及び包装
残余物と同様の処理をすること。
御使用の地域の法律、条令に従い、廃棄物を処理すること。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号 データ無し
品名(国連輸送名) データ無し

国連分類 データ無し
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 データ無し
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOLによるばら積み輸送される液体物質 非該当(粉体の為)
(該当・非該当)

国内規制 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

応急措置指針番号 データ無し

その他

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法	非該当
安衛法	安衛法:7-(4)-841
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高压ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	化審法:4-1735
船舶安全法	データ無し
航空法	データ無し
バーゼル法	データ無し
外為法	データ無し
港則法	データ無し

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

記載内容の問い合わせ先

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の見出しを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

-
- ★ リスクアセスメント必須事項
 - ラベルに記載する情報
 - ▲ 安衛法ラベルの注意書きの項目
(但し、ラベルに全て載せる必要はない)